

データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 [博士後期課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>以下の要件を満たすとともに、所定の単位を修得し、かつ、博士論文についての審査及び試験に合格した者に、博士（データサイエンス学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none">最先端のデータサイエンスの研究・教育システムの中で、世界規模での重要な研究対象（イシュー）を発想し、それに対応するプロジェクトを設計・推進する能力を有すること。プロジェクトを通して、国際的に適用可能な実現方法・発信方法の設計・構築、及び、それらを活用するグローバルコミュニティの形成を行う能力を有すること。国際レベルのスペシャリストとしての能力を有すること。	<p>本課程は、学位授与の方針（ディプロマポリシー）の達成のため、カリキュラムを『発展科目』及び『研究指導』から構成する。『発展科目』には、最先端のデータサイエンス領域の専門知識、新技術を修得し、それらを基礎とし、新たな事実の解明、独創的な価値創造を発信する能力を養成する「データサイエンス先端発展研究 1、2」を 1・2 年次に配置する。さらに、履修者の研究に関するプレゼンテーションを通じ、多様な分野の教員と研究討議を行う「未来創造発展セミナー 1、2」を 1・2 年次に配置し、「未来創造発展セミナー 1 A、1 B」ではデータサイエンス・スペシャリスト、プロフェッショナルの研究者として必要なデータサイエンス領域の高度専門知識と新技術について、また「未来創造発展セミナー 2 A、2 B」では、データサイエンス経営・開発プロフェッショナルとして必要なデータサイエンス領域の専門知識、新技術を活かした独創的な高度産業的応用を生みだし、それを構築し、国際的なイノベーションを実現する手法およびグローバルコミュニティの形成を行う能力を身につける。</p> <p>『研究指導』には、研究指導科目である「未来創造発展研究（研究指導） 1 - 3」を 1～3 年次に配置し、履修者は、データサイエンス領域を対象とした研究プロジェクトに参加し、共同的・協調的発展研究活動を実施することにより、研究テーマを自ら見出し、独創的な研究活動を推進するための計画を策定し、独創的な研究を発信するデータサイエンス・スペシャリスト、プロフェッショナルの研究者として、また産業界において独創的なイノベーションを実現する開発、経営プロフェッショナルとして必要なプロジェクトを設計・推進する能力を身につけると同時に、博士論文の執筆に資する研究を行う。</p>